

ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
枚方市子ども・若者支援地域協議会
令和元年度の活動報告



枚方市子どもの育ち見守りセンター

となとな

目 次

【 1 】 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	
1. 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	1 p
2. 場所	1 p
3. 相談体制	1 p
4. 相談件数	2 p
5. 居場所	7 p
6. 家族の会	8 p
【 2 】 市民啓発等	
1. 子ども・若者支援のための市民講座	9 p
2. ひきこもりU X女子会 in O S A K A 6 都市	9 p
3. サポートフレンド養成講座	10 p
4. 職員による講座等	11 p
5. 枚方市青少年サポートマップの作成	11 p
【 3 】 枚方市子ども・若者支援地域協議会	
1. 令和元年度の活動状況	12 p
2. 会議の実施状況	15 p
[資料 1]	「ひらぼう」第27報～第32報
[資料 2]	「子ども・若者支援のための市民講座」配布資料
[資料 3]	「ひきこもりU X女子会」チラシ
[資料 4]	「サポートフレンド養成講座」チラシ
[資料 5]	「枚方市青少年サポートマップ」(第 6 版)
[資料 6]	「枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱」

【1】枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

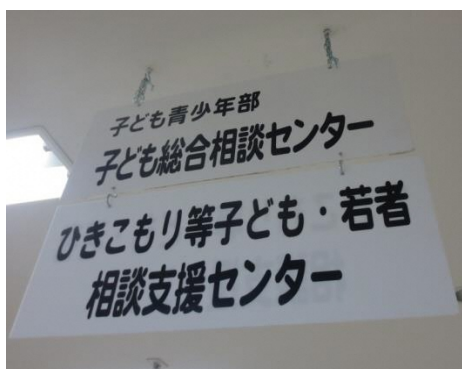
1. 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

枚方市では、平成 25 年 4 月に「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を設置し、15 歳からおおむね 39 歳までの不登校、ひきこもり、ニート等に関する相談を受けし、継続して対応方法や支援を考えています。必要に応じて、より適した支援機関等にもおつながします。次のステップとしての居場所支援や、家族の会を行っています。

2. 場所

枚方市子ども総合相談センター(現：子どもの育ち見守りセンター)となとに専用の窓口を設置しています。専用の相談室が 2 部屋あります。

住所：〒573-0032 枚方市岡東町 12-3-410 サンプラザ 3 号館 4 階



3. 相談体制

相談には、電話相談と面接相談があります（専用電話設置）。面接相談は事前に予約をお願いしています。

窓口には、臨床心理士や社会福祉士等の資格を有する職員を配置し、関係機関と連携しながら対応しています。

また、職員のスキルアップのため、外部講師より助言をもらうスーパービジョンを実施したり、各種研修にも参加しました。

4. 相談件数

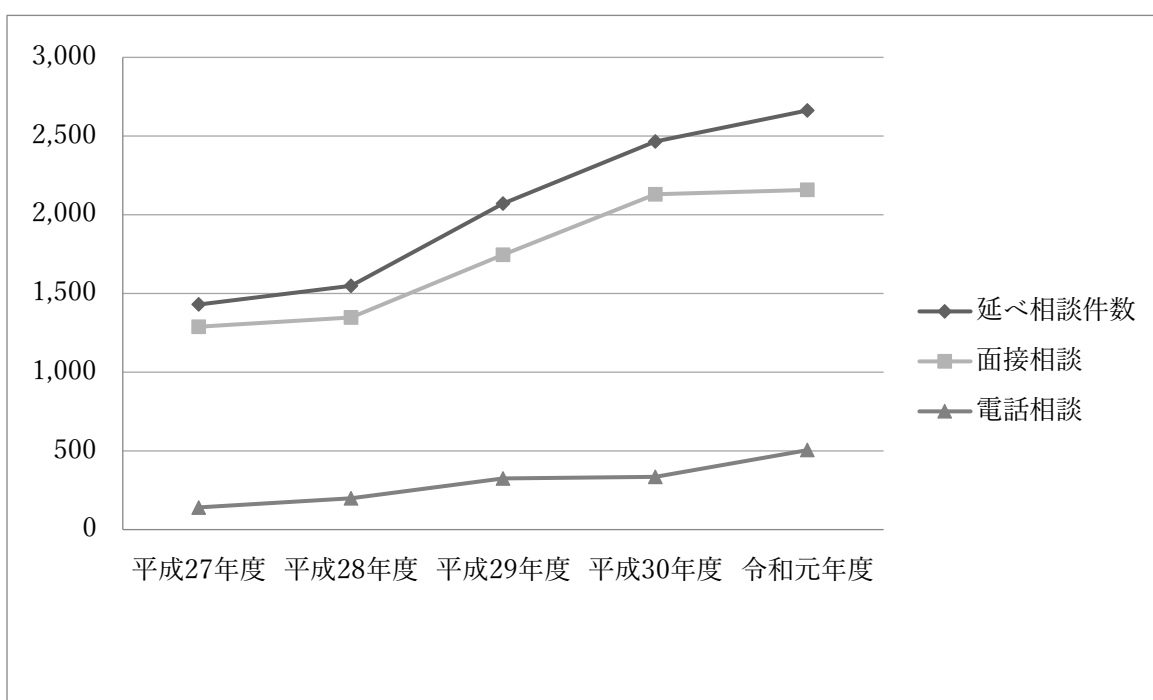
< 延べ件数 >

○相談件数

令和元年度の延べ相談件数は、2,663 件でした。内訳は面接相談が 2,158 件、電話相談が 505 件でした。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
面接相談	1,289	1,348	1,746	2,131	2,158
電話相談	141	200	326	335	505
計（件）	1,430	1,548	2,072	2,466	2,663

相談件数の推移



○訪問支援

継続相談の中で、必要に応じて訪問支援を行いました。自宅へ伺う家庭訪問が 53 件、ご本人やご家族と一緒に各窓口に同行する同行訪問は 20 件でした。

(同行訪問先)

自立相談支援センター、就労支援機関、医療関係機関、障がい福祉関係機関など（多かった順に抜粋）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
家庭訪問	53	49	61	68	53
同行訪問	25	22	26	22	20
計（件）	78	71	87	90	73

○機関連携

ご本人やご家族の了承のもと、他機関に紹介するための事前連絡や、状況の共有、支援のための協議など、機関との連携を行いました。

（連携機関）

就労支援機関、自立相談支援センター、障がい福祉関係機関、保健所、医療関係機関、家庭児童相談、コミュニティソーシャルワーカーなど（多かった順に抜粋）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
機関連携（件）	52	185	193	288

※平成 28 年より統計開始

<実相談ケース数>

令和元年度の実相談ケース数が 300 件、そのうち新規相談が 152 件でした。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実相談（件）	186	185	248	247	300
新規相談（件）	116	92	136	122	152

令和元年度の実相談ケース 300 件のうち、令和元年度に支援終了したケースが 104 件、次年度以降継続のケースが 195 件、支援終了後フォローアップのケースが 1 件でした。

終了したものの内訳は、1 回もしくは数回の相談にて適切な支援機関につないだり、対応方法について助言を行ったものが 69 件、継続支援ののち終結したものが 33 件、来談が途絶えたものが 2 件でした。来談が途絶えたり、前回の相談から期間が空いていたりするものについては、相談者の状況に応じて、講座等の情報提供を行いました。

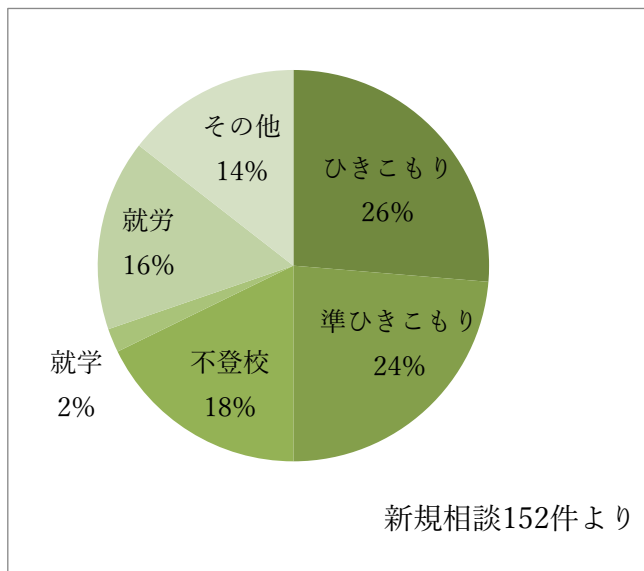
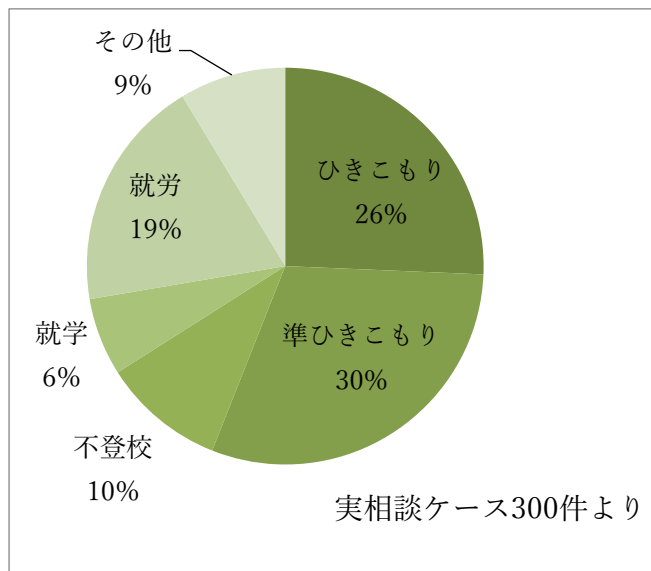
○相談内容

相談内容は、ひきこもりと準ひきこもりについての相談が合わせて 56%、次に就労についての相談が 19%、不登校の相談が 10%でした。

そのうち、新規相談の相談内容の内訳については、ひきこもりと準ひきこもりについての相談が合わせて 50%、不登校の相談が 18%でした。

ひきこもり 自室からほとんど出ない、自室からは出るが家から出ない。
普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける。

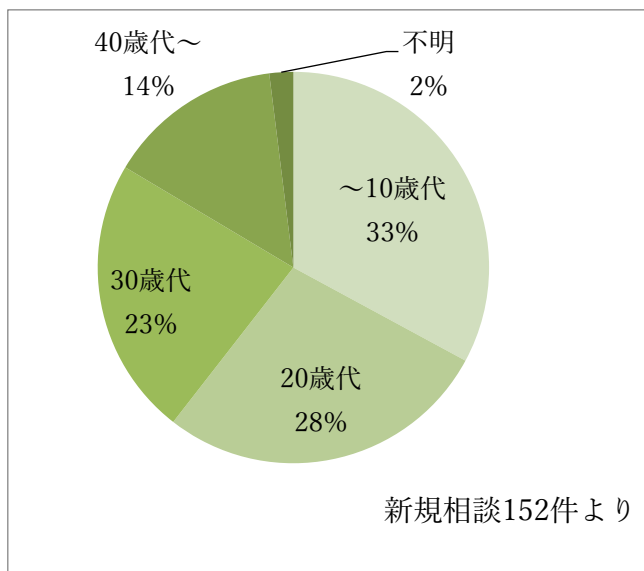
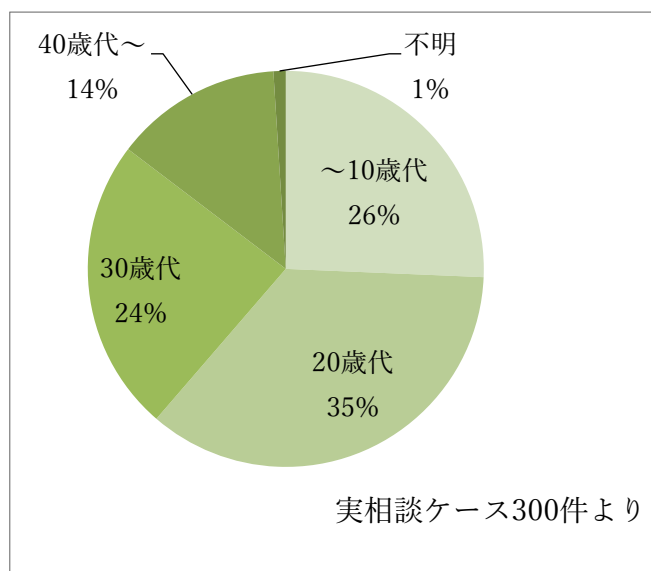
準ひきこもり ふだんは家にいるが自分の趣味に関する用事の時だけ外出する。



○相談対象者の年代

相談対象者の年代は、20代の相談が 35%と一番多く、次に 10代の相談が 26%と続きます。また、一定数、40代以上の方の相談もあるという現状です。

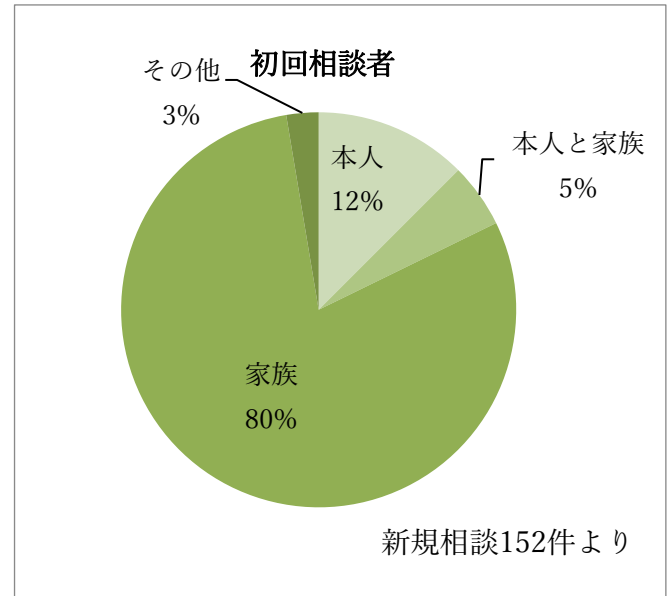
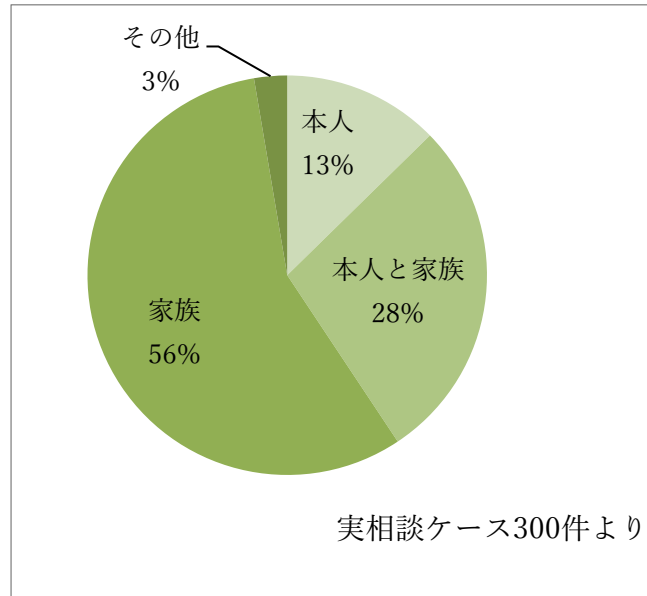
そのうち、新規相談の内訳については、10代の相談が一番多く、続いて、20代となっています。



○相談者

相談者については、本人、もしくは本人と家族から相談をお受けしているケースがあわせて、41%、家族からのご相談が 56%でした。

そのうち、新規相談の初回相談者については、本人、もしくは本人と家族からの相談が 17%、家族からの相談が 80%でした。初回相談の多くは、家族からの相談でした。



○性別

新規相談の相談対象者の性別については、男性が 63.8%、女性が 33.6%でした。

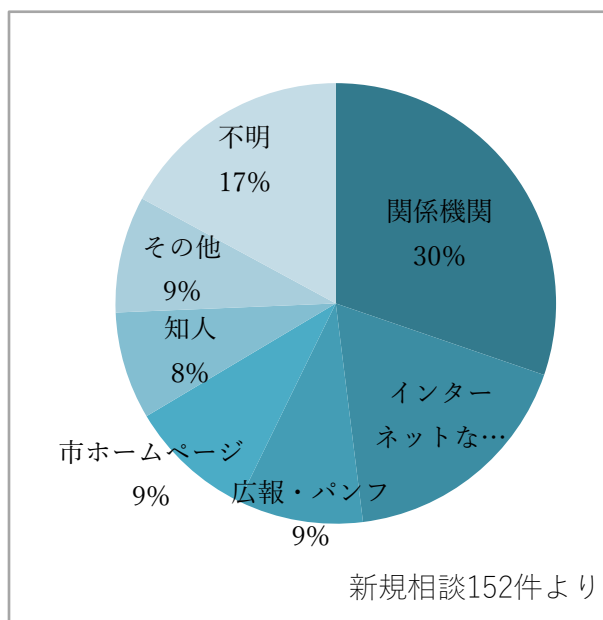
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
男性	79 (68.1%)	50 (54.2%)	102 (75%)	87 (71.3%)	97 (63.8%)
女性	36 (31%)	39 (42.4%)	30 (22.1%)	34 (27.9%)	51 (33.6%)
不明	1 (0.9%)	3 (3.3%)	4 (2.9%)	1 (0.8%)	4 (2.6%)
計 (件)	116	92	136	122	152

○相談経路

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを知ったきっかけは、関係機関からの紹介が30%と一番多く、次いで、インターネットなど、広報・パンフレット、市ホームページ、知人からの紹介となっています。

（関係機関）

市役所の各窓口（家庭児童相談、保健所など）、医療関係機関、学校、子ども家庭センター、社会福祉協議会など（多かった順に抜粋）



○居住地

対象は市内在住の方ですが、市外からの相談もありました。一旦お聴きして、他市で利用できる相談窓口の情報提供を行っています。

市内	市外	不明	計（件）
126 (82.9%)	16 (10.5%)	10 (6.6%)	152

5. 居場所支援

ひきこもり等の子ども・若者が社会に参加するきっかけとなるスモールステップとして、居場所が必要で、平成 26 年度より枚方公園青少年センター等を活用し、居場所支援事業「ひらぼ」を実施しています。相談員との個別面接の次のステップとして4、5人の若者がスタッフと一緒にさまざまな活動を体験する中で、社会とのつながりを築いていくことを目指しています。実際の活動においては、専門のコーディネーターを配置し、「サポートフレンド養成講座」を受講したサポートフレンド※1（登録者 21 名）の協力を得て、料理やゲーム、スポーツ、外出イベントなどの活動を行いました。また、昨年引き続きウィルフESTAにも参加し、居場所支援「ひらぼ」のブースを出しました。出品する木工品作りの準備をしたり、当日に、来場者に対応するなどの役割を担いました。さらに、枚方公園青少年センターで実施される 1 Day フェスティバルにて、綿菓子の販売も行いました。アサーショントレーニングやプログラミングなど新しい内容を取り入れたり、他の支援機関を利用している若者と合同で居場所を開催したり、市民講座にもボランティアとして参加するなど、体験の場が広がりました。

居場所支援事業「ひらぼ」の活動を中心に、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みを広報する通信「ひらぼう」※2〔資料 1〕を令和元年度も2ヶ月に1回発行しました。若者が記事を企画、執筆するなど、作成に参加しました。

居場所支援事業と並行して、個別の面接相談も継続し、ひとりひとりに合った支援を行っています。

令和元年度は、毎週水曜日と、他の曜日に月 2、3 回開催し、計 88 回、参加延べ人数は 487 人でした（実人数 30 人／平成 30 年度は 19 人、平成 29 年度は 20 人、平成 28 年度は 24 人、平成 27 年度は 17 人、平成 26 年度は 7 人）。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所回数	8	8	7	8	9	8	8	8	9	7	7	1	88 回
参加延べ人数	34	38	46	45	48	50	39	52	54	36	41	4	487 人

新型コロナウイルス感染症の影響にて、3 月 11 日以降の活動は中止

またサポートフレンドを対象に、研修会を実施したほか、市民連続講座など、子ども・若者にかかわる研修をフォローアップ研修としました。

※1 サポートフレンド

サポートフレンドとは、サポートフレンド養成講座を受講し、地域の中で、不登校やひきこもりなど、さまざまな生きづらさを感じている子ども・若者の理解者となる存在です。サポートフレンドの活動のひとつとして、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターのイベントや居場所支援「ひらぼ」の活動に協力してもらっています。

※2 ひらぼう

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みについて、具体的に知っていたくため、センターや居場所の活動、居場所に参加する若者からのメッセージを紹介しています。市のホームページに掲載し、関係機関にも配布しています。

6. 家族の会

月に一回、相談支援センターの相談者を対象に同じ悩みを持つ家族の相互理解や交流を目的として、家族の会を開催しました。初めて父親限定の会を開催しました。

令和元年度は実施が11回、参加延べ人数は59人でした。

テーマ

4月	ひきこもり等子ども・若者相談支援センターが、大切にしていること
5月	おいしく食べよう！ 調理実習その①
6月	「仕事に就く」を支援するーサポステの紹介を中心にー
7月	身体にも優しくーお手軽ストレッチ & フリートークー
9月	怒りと上手に付き合うコツ
10月	お父さんの出番ですー親父限定の会ー
10月	親としての接し方の基本について講義・質疑応答
11月	発達障害についての番組の鑑賞&意見交換
12月	絵手紙で年賀状を描く
1月	子どもの恋愛と結婚についてのフリートーク
2月	近況報告 & フリートーク

開催日時は毎月第3金曜日午後2時から4時

8月は休み

3月は新型コロナウイルス感染症の影響にて中止

【2】市民啓発等

1. 子ども・若者支援のための市民講座

～ひきこもりや不登校の子ども・若者の自分らしい自立にむけて～

ひとりで背負わず、みんなでいっしょに考えませんか

[資料2]

ひきこもりや不登校、ニート等の状態には、様々な背景があり、本人や家族だけが背負う問題ではなく、社会全体で一緒に考えたいというメッセージを届けるため、また枚方には、いっしょに考えたいと思っている人や相談できる場所があることを知っていただくための講座を実施しました。市内にある相談支援窓口から、相談支援の使い方や、事例を通して、実際の支援の様子を説明しました。より具体的に窓口の様子を感じてもらえるよう、それぞれの窓口の紹介ブースも設置しました。また、子ども・若者支援地域協議会の各機関など、市内の子ども・若者に関する相談資源についての資料コーナーを設置しました。

講座の企画や準備には、枚方市子ども・若者支援地域協議会の各関係機関、市内で活動する家族会の方、若者ご本人にも、参加いただきました。

日時：令和元年9月14日（土）13:00～16:00

場所：ラポールひらかた 大研修室

第一部 13:00～14:00

講演『自分らしい自立へのステップ～ひきこもり支援の現場から～』

講師：藤村 泰王 さん（NPO 法人淡路プラッツ・精神保健福祉士）

第二部 14:00～16:00

枚方市での相談・支援窓口の紹介

- ・枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
- ・北河内地域若者サポートステーション
- ・枚方市自立相談支援センター
- ・あおい教育支援グループ
- ・枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会

参加者：105人

2. ひきこもりUX女子会 in O S A K A 6都市

[資料3]

ひきこもり状態であったり、対人関係に難しさを感じているなど、さまざまな生きづらさを抱えている女性自認の方を対象に、安心して交流できる機会として、当事者会を開催しました。大阪府内6都市（吹田市・豊中市・枚方市・大阪市・能勢町・茨木市）で開催し、枚方会場では以下のとおり実施しました。

日時：令和元年 10 月 5 日（土）
場所：ラポールひらかた 大研修室

第一部

ひきこもり経験者の「体験談トーク」

第二部

当事者・経験者のみの「グループトーク」

つながる待合室

運営：一般社団法人ひきこもり UX 会議

参加者：38人

3. サポートフレンド養成講座

[資料 4]

地域の中でさまざまな生きづらさを感じている、ひきこもり等の子ども・若者に対する理解者としてサポートしてくださるボランティアスタッフであるサポートフレンドの養成講座を実施しました。46 名の方が講座を受講されました。

第 1 回

日時：令和 2 年 2 月 7 日（金）14:00～16:00

場所：ラポールひらかた 研修室 1

テーマ：ひきこもり状態になっている若者の理解と自立へのステップ

講師：小林 将元さん（特定非営利活動法人クラウドナイン理事長）

第 2 回

日時：令和 2 年 2 月 12 日（水）14:00～16:00

場所：枚方公園青少年センター 和室

テーマ：枚方市におけるひきこもり等子ども・若者支援の取り組み

居場所支援事業「ひらぼ」の紹介～サポートフレンドの役割～

講師：居場所支援コーディネーター・子ども総合相談センター職員

第 3 回

日時：令和 2 年 2 月 17 日（月）14:00～16:00

場所：ラポールひらかた 研修室 1

テーマ：一緒に考える、若者観～柔らかいところでイメージをひろげよう～

講師：子ども総合相談センター職員

4. 職員による講座

枚方市民生委員児童委員協議会障がい者福祉部会研修

団体名：枚方市社会福祉協議会

日時：令和元年10月3日（木）

場所：ラポールひらかた 大研修室

テーマ：ひきこもり状態への支援について

～もし相談をうけたら？知っておくと安心、知識と資源～

5. 枚方市青少年サポートマップの作成

[資料5]

枚方市内にあるひきこもりや不登校などの相談窓口を1枚のイラストマップ（A3六つ折）にまとめたリーフレットの改訂版（第6版）を5000部作成しました。各機関の最新の情報を更新しました。表面にはマップの使い方と相談窓口の地図を、裏面には各窓口の対象者や支援内容を掲載し、どこに相談すればいいか分からない時に、ひと目で伝わり、少しでも早く相談につながってもらえるように工夫しています。

【3】枚方市子ども・若者支援地域協議会

1. 令和元年度の活動状況

[資料6]

ひきこもりやニート、不登校などの相談機関・関係機関のネットワーク構築のため、平成24年6月より枚方市内で活動している各関係機関に呼びかけて、枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議を設置しました。平成30年3月には、同ネットワーク会議を、子ども・若者育成支援推進法に基づく「枚方市子ども・若者支援地域協議会」に位置づけ、各機関等が顔の見える関係を築くとともに、さまざまな状況のひきこもり等の子ども・若者に対し、切れ目のない適切な支援が行える体制作りをめざしています。

令和2年1月に代表者会議を開催し、偶数月に実務者会議を開催しました。奇数月に実務者会議の世話人会議を実施し、次回の全体会議のテーマや今後の方向性を検討しました。令和元年度は、より具体的な支援に関わる情報の共有を目的として、各テーマに応じた事例を通して、学びを深めました。事例検討会（ケースカンファレンス）も実施し、活発な意見交流が行われました。

また、9月に開催した市民講座では、ネットワーク会議の構成機関の協力を得て、窓口紹介や支援機関について資料コーナーの設置をしました。

○令和元年度枚方市子ども・若者支援地域協議会 代表者会議

実施日	内 容
1月22日	・各機関紹介 ・講演 「困難を有する子ども・若者支援の仕組みづくりについて」 一般社団法人 office ドーナツトーク 代表 田中 俊英 氏 ・報告 枚方市子ども・若者支援地域協議会 実務者会議 令和元年度の取り組み

【代表者会議 構成機関】

(令和2年3月時点)

- ・枚方市産業文化部商工振興課
- ・枚方市保健所保健予防課
- ・枚方市保健所保健センター
- ・枚方市福祉部福祉総務課
- ・枚方市福祉部生活福祉室
- ・枚方市福祉部障害福祉室
- ・枚方市子ども青少年部子ども青少年政策課
- ・枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター
- ・枚方市教育委員会事務局学校教育部児童生徒支援室
- ・枚方公共職業安定所
- ・大阪府中央子ども家庭センター相談対応第二課
- ・独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
- ・一般社団法人枚方市医師会
- ・枚方市民生委員児童委員協議会

- ・ 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
- ・ 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会
- ・ 枚方・交野地区保護司会
- ・ 枚方市青少年育成指導員連絡協議会
- ・ 枚方警察署 生活安全課
- ・ 交野警察署 生活安全課
- ・ 子ども総合相談センター （子ども・若者・ひとり親相談担当）【事務局】

○令和元年度枚方市子ども・若者支援地域協議会 実務者会議
(ひきこもり等地域支援ネットワーク会議)

実施日	内 容
第1回全体会議 4月18日	・ 枚方市子ども・若者支援地域協議会について ・ 各機関の活動紹介
第2回全体会議 6月20日	「生活困窮者自立支援制度について」 ・ 制度の概要と枚方市自立相談支援センターについて 生活福祉室 困窮者支援担当、(一社) ステップフォワードより ・ 枚方市自立相談支援センターと連携し、制度を活用した事例の紹介 ひきこもり等子ども・若者相談支援センターより - いきいきネット相談支援センター（社会福祉協議会）CSWより
第3回全体会議 8月22日	「大学生の子ども・若者における就職支援の現状と学生支援の取り組みについて」 大阪電気通信大学 就職部 四條畷就職課 総合学生支援センター 学生課
第4回全体会議 10月17日	「障害福祉サービスについて知ろう」 ・ 障害者総合支援法における障害福祉サービスについて 枚方市障害福祉室より ・ 障害福祉サービスの利用について～就労移行支援・就労継続支援を中心に～ 相談支援センター陽だまりより
第5回全体会議 12月19日	「ケースカンファレンス」 ・ 事例提供、グループワーク いきいきネット相談支援センター 社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーより
第6回全体会議 2月20日	「当事者の声を聴く～若者とその家族より～」 ・ 家族会について 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会より ・ 若者当事者の思い NPO 法人ウィークタイ 泉 翔氏より ・ 家族の思い 不登校の親の会「カモミール」より

※全体会議の前月に、次回の内容を検討する世話人会議を開催。

【実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）案内送付機関】

（令和2年3月時点、33機関・37窓口）

- ・ 枚方公共職業安定所（ハローワーク枚方）
- ・ 大阪府中央子ども家庭センター
- ・ 大阪精神医療センター
- ・ 枚方市民生委員児童委員協議会
- ・ NPO 法人枚方人権まちづくり協会
 - 枚方市地域就労支援センター
 - 枚方市いきいきネット相談支援センター
- ・ 枚方市社会福祉協議会
 - 枚方市いきいきネット相談支援センター
- ・ （一社）ステップフオワード
 - 北河内地域若者サポートステーション
 - 枚方市就労準備支援事業担当
- ・ 三島地域若者サポートステーション
- ・ OSAKA しごとフィールド（JOB カフェコーナー）
- ・ 枚方市障害者自立支援協議会幹事会
- ・ 枚方市障害者就業・生活支援センター
- ・ L I T A L I C O ワークス枚方
- ・ d-career（枚方駅前オフィス）
- ・ 訪問看護ステーション デューン京阪
- ・ （特活）ひらかた市民活動支援センター
- ・ 大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程）
- ・ 大阪府立大手前高等学校（定時制の課程）
- ・ 長尾谷高等学校
- ・ E C C 学園高等学校
- ・ 近畿情報高等専修学校
- ・ あおい教育支援グループ
- ・ 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会
- ・ （株）京阪毎日舎
- ・ 大阪府中小企業家同友会・枚方寝屋川交野支部
- ・ 枚方市 産業文化部 商工振興課
- ・ 枚方市 健康部 保健所 保健予防課
- ・ 枚方市 健康部 保健所 保健センター
- ・ 枚方市 福祉部 生活福祉室
 - 自立支援担当
 - 困窮者支援担当（自立相談支援センター）
- ・ 枚方市 福祉部 障害福祉室
- ・ 枚方市 子ども青少年部 子ども青少年政策課
- ・ 枚方市 子ども青少年部 枚方公園青少年センター
- ・ 枚方市教育委員会 学校教育部 児童生徒支援室
- ・ 枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター
 - 家庭児童相談担当
 - 子ども・若者・ひとり親相談担当（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター）

【事務局】

2.会議の実施状況

代表者会議

会議の名称	令和元年度 第1回子ども・若者支援地域協議会代表者会議	
開催日時	令和2年1月22日（水） 14時00分から16時00分まで	
開催場所	枚方市市民会館 第4会議室	
出席者	枚方公共職業安定所 大阪府中央子ども家庭センター 大阪精神医療センター （一社）枚方市医師会 枚方市社会福祉協議会 枚方・交野地区保護司会 枚方市青少年育成指導委員連絡協議会 枚方警察署 交野警察署	保健所保健予防課 保健所保健センター 福祉総務課 生活福祉室 障害福祉室 子ども青少年政策課 子ども総合相談センター家庭児童相談担当 児童生徒支援室 子ども総合相談センター 子ども・若者・ひとり親相談担当（事務局）
＜内容＞ （一社）office ドーナツトーク代表田中氏より、困難を有する子ども・若者支援の仕組みづくりについて、学校、行政、民間の連携について講演いただく。各機関の紹介を実施し、実務者会議の取り組みについて報告を行った。		

実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）

会 議 の 名 称	令和元年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ＜第1回全体会議＞	
開 催 日 時	平成 31 年 4 月 18 日(木) 14 時 00 分から 16 時 00 分まで	
開 催 場 所	メセナひらかた会館 4階研修室	
出 席 者	枚方公共職業安定所:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会:1人 枚方市障害者就業・生活支援センター:2人 d-career(枚方駅前オフィス):1人 訪問看護ステーション デューン京阪:1人 (特活)ひらかた市民活動支援センター:1人 寝屋川高校:1人 長尾谷高校:1人 ECC 学園高等学校:1人 あおい教育支援グループ:1人	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 大阪府中小企業家同友会:1人 保健所保健予防課:2人 保健所保健センター:2人 生活福祉室:4人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:1人 児童生徒支援室:1人 子ども総合相談センター:2人 家庭児童相談担当:1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):6人 計 37 人
＜内容＞ ・ 事務局より、枚方市子ども・若者支援地域協議会について説明。 ・ 参加機関より、自己紹介と、それぞれの機関の役割や特徴、近況について紹介。		

会 議 の 名 称	令和元年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ＜第2回 全体会議＞	
開 催 日 時	令和元年6月 20 日(木) 14 時 00 分から 16 時 00 分まで	
開 催 場 所	メセナひらかた会館 4階研修室	
出 席 者	枚方公共職業安定所:1人 大阪精神医療センター:1人 NPO 法人枚方人権まちづくり協会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会:1人 (一社)ステップフォワード:2人 OSAKA しごとフィールド:2人 相談支援センター陽だまり:1人 LITALICO ワークス枚方:1人 d-career(枚方駅前オフィス):1人 訪問看護ステーション デューン京阪:2人 寝屋川高校:1人 大手前高校:1人 長尾谷高校:1人	あおい教育支援グループ:1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 大阪府中小企業家同友会:2人 保健所保健予防課:2人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:3人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:1人 子ども総合相談センター:1人 家庭児童相談担当:1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):4人 計 36 人
＜内容＞ ・ 生活困窮者自立支援制度の概要と枚方市自立相談支援センターについて紹介。 ・ 自立相談支援センターと連携し制度を活用した事例の紹介。		

会 議 の 名 称	令和元年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第3回 全体会議>	
開 催 日 時	令和元年8月22日(木) 14時00分から16時00分まで	
開 催 場 所	メセナひらかた会館 4階研修室	
出 席 者	大阪電気通信大学:3人 枚方公共職業安定所:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会:1人 (一社)ステップフォワード:1人 LITALICO ワークス枚方:1人 d-career(枚方駅前オフィス):1人 訪問看護ステーション デューン牧野:3人 (特活)ひらかた市民活動支援センター:1人 長尾谷高校:1人 ECC 学園高等学校:1人	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 大阪府中小企業家同友会:1人 商工振興課:1人 保健所保健予防課:2人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:3人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:1人 児童生徒支援室:1人 子ども総合相談センター 家庭児童相談担当:1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):3人 計 34 人
<内容> ・ 大阪電気通信大学就職部就職課、総合学生支援センター、学生課の各担当者より、大学における就職支援と学生支援の取り組みについて紹介。		

会 議 の 名 称	令和元年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第4回 全体会議>	
開 催 日 時	令和元年 10 月 17 日(木) 14時00分から16時00分まで	
開 催 場 所	枚方市市民会館 3階 第4会議室	
出 席 者	枚方公共職業安定所:1人 大阪府中央子ども家庭センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 NPO 法人枚方人権まちづくり協会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会:1人 北河内地域若者サポートステーション:1人 枚方市障害者就業・生活支援センター:2人 相談支援センター陽だまり:1人 LITALICO ワークス枚方:1人 (株)いま・ここ:1人 訪問看護ステーション デューン京阪:1人 長尾谷高校:1人	ECC 学園高等学校:1人 あおい教育支援グループ:1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 保健所保健予防課:1人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:4人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:1人 児童生徒支援室:1人 子ども総合相談センター :1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):4人 計 32 人
<内容> ・ 障害福祉室より障害福祉サービスについて説明。 ・ 相談支援センター陽だまりより、実際の就労移行支援・就労継続支援について説明。		

会 議 の 名 称	令和元年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第5回 全体会議>	
開 催 日 時	令和元年 12 月 19 日(木) 14 時 00 分から 16 時 00 分まで	
開 催 場 所	枚方市市民会館 3階 第3会議室	
出 席 者	枚方公共職業安定所:1人 大阪府中央子ども家庭センター:1人 大阪精神医療センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 NPO 法人枚方人権まちづくり協会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会:1人 北河内地域若者サポートステーション:2人 LITALICO ワークス枚方:1人 d-career(枚方駅前オフィス):1人 訪問看護ステーション デューン京阪:3人 長尾谷高校:1人	あおい教育支援グループ:1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 (株)京阪毎日舎:1人 大阪府中小企業家同友会:1人 保健所保健予防課:1人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:3人 障害福祉室:1人 子ども青少年政策課:1人 子ども総合相談センター :1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):4人 計 32 人
<内容> ・ 枚方市社会福祉協議会いきいきネット相談支援センターより事例提供し、ケースカンファレンス。グループにて検討を行った。		

会 議 の 名 称	令和元年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 <第6回 全体会議>	
開 催 日 時	令和2年2月 20 日(木) 14 時 00 分から 16 時 00 分まで	
開 催 場 所	枚方市市民会館 3階 第4会議室	
出 席 者	NPO 法人ウィークタイ:1人 枚方公共職業安定所:1人 大阪府青少年課:1人 大阪府中央子ども家庭センター:1人 枚方市民生委員児童委員協議会:1人 枚方市地域就労支援センター:1人 枚方市社会福祉協議会:1人 (一社)ステップフワード:1人 LITALICO ワークス枚方:1人 d-career(枚方駅前オフィス):1人 訪問看護ステーション デューン京阪:2人 (特活)ひらかた市民活動支援センター:1人 大手前高校:1人 長尾谷高校:1人 ECC 学園高等学校:1人 あおい教育支援グループ:1人	枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会:1人 つばさの会大阪:1人 イシス大阪家族会:1人 カモミール:2人 北河内交流会:3人 (株)京阪毎日舎:1人 大阪府中小企業家同友会:1人 保健所保健予防課:1人 保健所保健センター:1人 生活福祉室:3人 障害福祉室:1人 枚方公園青少年センター:2人 子ども総合相談センター 家庭児童相談担当 :1人 子ども・若者・ひとり親相談担当(事務局):5人 計 41 人
<内容> ・ 家族会連絡会より、家族会について説明、各団体から活動内容を紹介してもらう。 ・ NPO法人ウィークタイ泉氏より、若者当事者の思いについて、カモミールより、家族の思いについて講話。		

資料

ひらぽう



第27報（平成31年4月）

趣味紹介 ～ 本当に素晴らしい曲の探求 ～

こんにちは。初めてひらぽを利用してから2年、最近になってよく利用するようになった20歳の者です。主に音楽を聴くこと、トランプが趣味です。

突然ですが、皆さん、音楽は好きですか？音楽と言ったら、歌・楽器の演奏のイメージが強いかもしれませんが、音楽は漢字で「音で楽しむ」と書くところから、テレビや映画の効果音、波の音など、日常の音を聴いて楽しむことも「音楽が好きである」と言えると僕は思います。それにしてもうちの電子ピアノのトーンリストに「銃声」は必要なのかな？おっと、話が反れかけてしまいましたが、ではいよいよ本題です。

皆さんは素晴らしい曲と聞かれて、どんな曲を想像しますか？

僕が曲の研究を始めたのは中学生の頃、5歳からピアノを習っている僕は当時きれいな曲が良いという考えで、ひたすらきれいなフレーズを繋げただけの曲しか出来ませんでした。

ところが、高校生の時、一般公募で採用された曲のみが収録されたリズムゲームを始めました。そこに収録された曲は完成度が高い曲が多くて驚きました。以降、自分の中での曲に求める要素が多くなってしまい、今まで良い曲だと感じたものも、何か物足りないと思うようになってしまいました。

ここからは個人的な意見になりますが、僕が思う理想的な曲は、隅々まで手が込んでいる且つ、かっこよさ、きれいさ、斬新さ、表現の豊かさ、これらをバランス良く取り入れられた曲です！！

逆に印象が良くない曲は、同じようなフレーズが何度も繰り返される曲。そういう曲が評価されるとちょっと腹が立ちちゃいますね（笑）

このあとのひらぽはリース作りが中心となりそうです。

音楽とは関係ありませんが、満足できる作品が出来るように頑張りたいです。去年は人手が足りなくて苦労した時もあったので、どうか今年こそは人が集まりますように…（利用者 TTさん）

食レポ！

3月終わりの土曜日に、くら寿司に行ってきました。父・妹・妹のダンナさんと四人で行って来ました。土曜日であったためかお客さんはいっぱいでした。僕は寿司を20皿食べました。その中でも、マグロとイカがおいしかったです。マグロは4皿、イカは3皿食べました。妹のダンナさんも「イカがおいしい」と言って3皿くらい食べていました。マグロは口に入れて噛むとやわらかく、イカは噛み応えがあり、どちらも食感がよくておいしかったです。（利用者 TRさん）

ひらぽ写真展



（利用者「匿名希望」さん撮影）

～ 今後のひらば ～

昨年度はウィルフェスタへの参加を行い、それに合わせてクリスマスリースの製作・販売を行いました。製作も販売もなかなか思ったようにはいかず苦勞しましたが、おかげさまで無事に終えることができました。今年度も昨年同様イベントへの参加を予定しています！（昨年の経験を生かして、今年はスムーズに準備できるはず…？）
どんなイベントにどんな形で参加することになるのか？…乞うご期待！！

「家族の会」

平成31年度の家族の会では、新たな試みとして、10月に「親父の会」を開きます。初めての方にも入ってもらいやすく、何度も来てる人にも新鮮な、そんな会を作ればなと思っています。

日時(予定)	テーマ(予定)
4月19日(金) 14:00～16:00	ひきこもり等子ども・若者相談支援センターが、大切にしていること
5月17日(金) 14:00～16:00	おいしく食べよう！ 調理実習その①
6月21日(金) 14:00～16:00	「仕事に就く」を支援する一サポステの紹介を中心に
7月19日(金) 14:00～16:00	身体にも優しくーお手軽ストレッチ
9月20日(金) 14:00～16:00	怒りと上手に付き合う
10月3日(木) 14:00～16:00	お父さんの出番ですー親父限定の会ー
11月22日(金) 14:00～16:00	年賀状を絵手紙で
12月20日(金) 14:00～16:00	最近よく聞く発達障害の基本
1月17日(金) 14:00～16:00	みんなで一緒に話そうー子どもの恋愛と結婚ー
2月21日(金) 14:00～16:00	おいしく食べよう！ 調理実習その②
3月13日(金) 14:00～16:00	やっぱり気になるお金のことー親亡き後をどう生きるー



ひとりひとりが自分らしく…。

ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けしています。おおむね15歳から39歳くらいのご本人、ご家族、関係者の方が対象です。

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

ひらぽう



第28報（令和元年6月）

今月のコラム

こんにちは。私はひらぽに通い始めて、2年半過ぎになる女性です。

最近自分の中で流行ってる遊びがありまして、それをお話ししようと思います。それは「苦手なものに挑戦して、自己満足に浸る(笑)」というものです。

例えば、グリーンピースが苦手な私は、あえてグリーンピースご飯を食べる、とか、苦手なゴキブリを自分で退治して、その後「ふっ、自分ってすごい(笑)」と自分に酔うだけなのですが、繰り返していると、困難な事に向き合える強さや自信がつくのではないかと、遊びながらやっています。

今度は、苦手な原付バイクに挑戦するぞ！

(20年前に車にぶつかりそうになりそれ以来乗れなくなっているのです)



活動報告 ～ポーカー大会～

トランプのポーカーゲームと聞いて、多くの人は5枚の手札で1度だけ交換して役の強さを競うゲームだと想像するかもしれませんが、今回は2枚の手札+コミュニティ・カード（全員共通の手札）5枚の計7枚から最強の役が出来る5枚のカードを組み合わせる役の強さを競う「テキサスホールデム」と呼ばれる、現在世界で最も有名なポーカーゲームに挑戦しました。

ただ役の強さを比べるのではなく、チップを使用して、いかにライバルを惑わすことが出来るのかというところがこのゲームの醍醐味であります。（例えば、手札が弱いのに連続で賭け額を上乗せして降参を誘うとか…）

各プレイヤーに同額のチップを配布していよいよ開始と思ったのですが、早くも2ラウンド目に参加者の半数以上が全賭けという荒技に！！

このときの勝者はコーディネーターIさん！一番面白くない展開に。そしてそのままIさんが優勝しちゃいました。僕はIさんに勝つと意気込んでいたため、すごい悔しい結果になりました。

次やる機会があったら最初に配るチップの額、Iさんだけ半分に減らしてやろうかなあ…（笑）

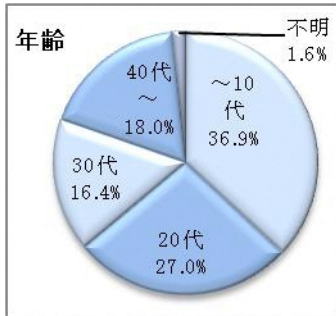


平成30年度の相談状況のご報告

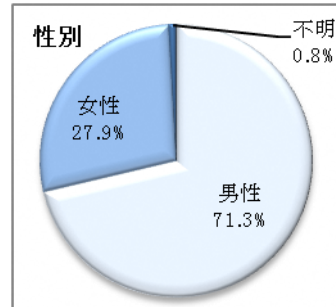
新規相談	延べ相談件数
122(件)	2466(件)

←新規相談が122件、延べ相談件数は2466件でした(昨年度の合計延べ相談件数は2072件)。1回で適した情報提供をさせてもらう場合もありますが、多くは時間をかけながら継続した相談を重ねています。

～新規相談(122件)の内訳～

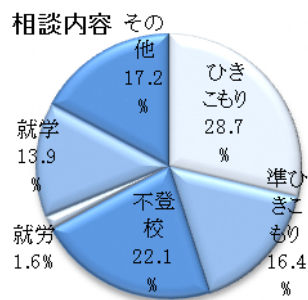


←ご本人の年齢層は、10代が多くなっていますが、幅広くご相談をお受けしています。40代以上の方のご相談も一定数あります。

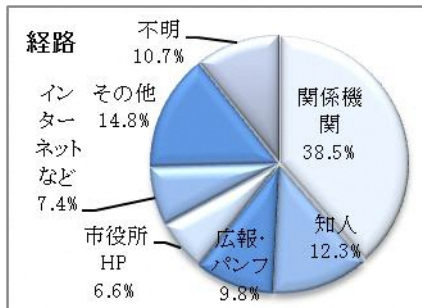
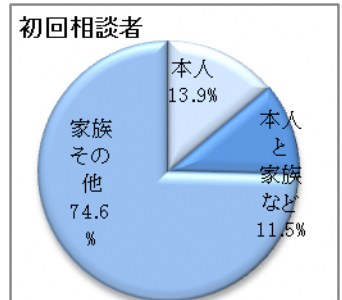


←男性のご相談が7割と多いですが、女性のご相談が4割あった年度もありました。潜在的にニーズはあると感じています。

→相談内容は様々です。複数の背景を含んでいることも多いです。(グラフは主な相談ひとつの集計です)



→初回の相談者は、ご家族からの相談が多くなっています。ご家族との相談を通して、ご本人とつながっていくことを一緒に考えていきます。



←ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを知ったきっかけは、関係機関からの紹介が多くなっています。ネットワークのつながりが進んでいることを実感しています。ホームページやリーフレットなども窓口を知るきっかけになっています。今後も、必要な人に必要な情報を届けられるように工夫していきます。

家族の会に参加して

5月の家族の会は、少人数でほっとりと調理実習でした。作るのは、チーズとウィンナー入りのアメリカンドッグ。皆でワイワイ言い乍ら、生地を割り箸に巻き付け、卵・パン粉を付けると、それぞれが余ってしまいました。わたしの母がフライ物を作る時、余った卵に粉等を混ぜてついでに油で揚げていた話をすると、早速“やってみよう”となりました。「美味しい」「今度やってみよう」等を聞いて、自分の話を聞いて貰えたのが嬉しく、滅多に自分の事を語らないのにすんなりと話せたのが不思議でした。皆で料理をしたからかな。料理にはそんな力がある気がします。ちなみに、作ったその名は“いいもん”といいます。(S.K)

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

ひらぽう



第29報（令和元年8月）

今月のコラム

はじめまして。四月から実習で“ひらぽ”に参加させていただいているＹと申します。

突然ですが、皆さんはカンガルーを食べたことはありますか？僕は、高校2年生の時に食べました。どうか“可哀そう”と言わないでくださいね。食べたのには、“あひるの空”というバスケット漫画を読んで、どうしてもダンクをしたくなったから、というちゃんとした理由があります。そこで、ダンクをするには、つまりジャンプ力を上げるには、ジャンプしている動物を食べればいだろうという、クレイジーな理論を打ち出しました。そのために、わざわざオーストラリアから冷凍のカンガルー肉を取り寄せました。獣臭さがすごいので浴びるほどオリーブオイルをかけ、雑菌が怖いので燃えるほど過熱処理しました。味は、脂肪が少なくサッパリしていましたが、決して美味しくはないです。さて、肝心のダンクですが、カンガルー肉を食べると並行して跳躍力UPのトレーニングをしていましたが、結局、足首を捻挫してしまい、“カンガルーの肉を食べてダンクしよう計画”は終わりを迎えました。しかし、時を経て令和元年。僕は現在、野球のピッチングの球速を上げようと、日々トレーニングに励んでいます。球速を上げるには、どんな動物を食べればいいのか模索中です。

そんな僕ですが、“ひらぽ”の活動として、妖怪“ノツチ”探しを企画しました。ノツチというのは、野山の守り神のような妖怪です。実は枚方にゆかりがあるらしく、今回は、ノツチが住むと言われる禁野車塚古墳まで探検に行きました。参加してくださった方々の命を、隊長として守る決意を固め、いざ現地に行くと、線路や住宅に囲まれた小さな雑木林が姿を現しました。ノツチがいそうな場所を報告するよう、隊員に伝え、各々が探検へ。そして、帰ってきた隊員からそれぞれ報告を聞くと、隊員には、繊細で個性的で、なんとも魅力的な感性があることが分かりました。その感性こそが、ノツチの実体かもしれません。

果たして、ノツチは、どんな姿をしているのでしょうか。大きいのでしょうか。小さいのでしょうか。どこに現れるのでしょうか。

はたまた、どんな味がするのでしょうか。

それが分かるのは、もう少し先かもしれませんが、ゆっくり探していきたいものです。



☆講座・イベントのお知らせ☆

ひとりで背負わず
みんなでいっしょに
考えませんか

～ひきこもりや不登校の
子ども・若者の自分らしい
自立にむけて～

～子ども・若者支援のための市民講座～

さまざまな生きづらさを感じている若者やその家族が、相談できる
場所が枚方にはあることをお届けする講座です。

日時：9月14日(土) 13時～

場所：ラポールひらかた 4階 大研修室

第1部 講演『自分らしい自立へのステップ～ひきこもり支援の現場から～』

藤村 泰王 さん(NPO 法人淡路プラッツ・精神保健福祉士)

第2部 枚方市での相談・支援窓口の紹介

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
枚方市自立相談支援センター
北河内地域若者サポートステーション
あおい教育支援グループ
枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会

それぞれの窓口の様子を
紹介するブースや、
他の窓口の資料コーナー
もあります！



～ひきこもり UX 女子会～

ひきこもり状態にあったり、対人関係の難しさを感じているなど、さ
まざまな生きづらさを抱えている女性自認の方を対象に、当事者
会を開催します。

大阪府内6都市の内、枚方開催は下記のとおり。

日時：10月5日(土) 14時～

場所：ラポールひらかた 4階 大研修室

第1部 ひきこもり経験者の「体験談トーク」

第2部 当事者・経験者のみの「グループトーク」

運営：(一社)ひきこもり UX 会議

※詳細は、子ども総合相談センターまで。ホームページにも掲載しています。

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

ひらぽう



第30報（令和元年10月）

9月21日（土）にウィルフェスタに参加し、ひらぽメンバーが製作した木工作品とハーバリウムをワンテールショップにて販売しました！今回は、そのときのみんなの感想をご紹介します！！

ウィルフェスタ当日の感想

- 昨年より訪問客が少なく、ちょっぴり残念でした。活動展示のほうが目目を浴びていて、良かったのではないのでしょうか。
- 去年に比べてお客さんが少なくて、楽ではありましたが、なにか寂しかったです。
- まずまず売れたので、楽しかったです。

木工製作の感想

- 今年は初めての木工に挑戦したんですが、慣れない作業・立て続けにやってくる雷雨と色々あって当日まで作業をすることになってしまっ大変でした。来年こそは余裕が欲しいなあ…（←2回目）
- 深刻な人手不足で、ブラック企業を感じました(´_`;)

ハーバリウム製作の感想

私は今回ウィルフェスタ当日は参加できませんでしたが、ウィルフェスタに向けての準備には参加させていただきました。そしてその準備というのはハーバリウムの製作！

ハーバリウムも準備自体も初めてさせてもらった私ですが、正直とても良い経験になり、誰かのために心をこめて作るということへの大切さもより強く感じました。ハーバリウム製作、今回は見る側としてではなく作る側としてなので、とても新鮮な気持ちとまた少し緊張した気持ちにもなりました。ハーバリウムを作っていく過程で、“どういう感じがいいのかな” “どういうイメージで作ろうか” などたくさん悩んだり、色々ありましたが、なんといってもやはり自分達一人一人の個性がよく作品に現れるところがハーバリウムの良さの一つなのかもしれません。今回のハーバリウム製作をするなかで、作品を作る楽しさ・作品を手にとってもらえるようにと真心を込める思いなど、様々な思いがまじりながらも、他の皆さんの作品も見れたこと、とても有意義かつ楽しい一日になりました。（またの機会があれば是非次回も参加させていただきたいものです。）

もうひとつのフェス

実は私、鉄道が好きなのです！なので、皆がウィルフェスタに参加している裏で、ひっそりと叡山電鉄とまんがタイムきららのコラボフェス撮影に行ってきました。今回の写真は、その撮影報告です。



子ども・若者支援のための市民講座を開催しました！

9月14日（土）、さまざまな生きづらさを感じている若者やその家族が、ひとりで背負わず相談できる場所があることをお届けする講座を開催し、105名の参加がありました。

ひとりで背負わず
みんなでいっしょに
考えませんか

～ひきこもりや不登校の
子ども・若者の自分らしい
自立にむけて～

第1部 講演 『自分らしい自立へのステップ

～ひきこもり支援の現場から～』

藤村 泰王 さん(NPO 法人淡路プラッツ・精神保健福祉士)

第2部 枚方市での相談・支援窓口の紹介

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

枚方市自立相談支援センター

北河内地域若者サポートステーション

あおい教育支援グループ

枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会



※第1部、講演会

☆当日は、ひらぼメンバーやあおい教育支援グループの若者のみなさん、サポートフレンドのみなさんにも準備や運営のお手伝いをいただきました。みんなでつくる会となったならうれしいです。ご協力、ご参加ありがとうございました。

手伝ってくれたひらぼメンバーの感想です！

9月14日に、ひきこもりについての市民講座が開かれるという事で、生まれて初めてボランティアに参加してみました。

今回参加した理由に「普段試したことがない事に挑戦してみたい」という思いがあったからです。

そして選んだのが受付でした。

対応ができるだろうか…という不安もありましたが、ひらぼのスタッフさんがそばにいてくれたおかげで、心強く緊張してても笑顔で挨拶ができました。

今後の仕事への自信につながったように思います。(かなえ)

市民講座にボランティアとして初めて参加しました。講座が始まる前に会場の設営をしました。机を並べたり、イスを設置したりしました。講座が始まる前、自分がお世話になっている若者サポートステーションの方たちやサポートフレンドの方も来ていらっしやっていたのでご挨拶させて頂いたりしました。講演では、淡路プラッツというひきこもりの方の居場所を主催している会の藤村さんの話を聞きました。ひきこもりの定義、現状、きっかけなどを改めて聞いて理解を深めました。講演で一番印象に残っているのは、最初は居場所に来ることが目的でのに居場所に来ることが息抜きになるということです。正直、自分も仕事を始めて、月に1回か2回ひらぼに参加させて頂いて、本当にひらぼの有り難みがわかりました。ひらぼで日頃の疲れを癒しているというのが本当のところだと思います。今回初めて市民講座に参加してみて本当に良かったと思いました。(M.H)

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となと** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952



ひらぽう

第31報（令和元年12月）

11月3日（日）に行われた枚方公園青少年センターでのワンデイフェスティバルに初めて参加し、綿菓子を作って販売しました！その時の参加メンバーの感想です。

「わたあめのおもひで」

秋は霜月。縁日でもすなるといふ綿菓子といふものをひらぽでもしてみむとしてするなり。

作業の折、機器に結晶貼り付くことあり。その様溶くことなきかき氷のやうなり。シヤクシヤクと口に旨し。「あなもったいなき」と始末の心にて綿菓子を散りばめたれば、世のおぼえうなぎ登りにて候。その色とりどりの結晶の輝き、まさに砂糖の宝石箱といふべき他なし。

閉店の後、休らひとして大き綿菓子をこしらえるも、その様まるで雲の峰のやうで綿菓子いとをかし。

（本文章は古文“っばさ”を目指したものであり、文法について保証するものではありません。あらためて当日お世話になった方、満足に提供できずご迷惑をおかけした方々に感謝とお詫び申し上げます。）

匿名希望

ワンデイフェスタではハラハラした。綿菓子を作る時に空回りしたりして、そのせいでお客さんを待たせてしまったことが原因。

売れ行きは良かった。中高生には買いやすい値段設定にしたところが良かったかもしれない。めちゃくちゃ嬉しいと言うわけではないが、売れたことで安心できた。

反省点としては、カップに入れた綿飴が小さい子に対して食べづらそうになっていたこと。あれなら棒の方がいいかと思う。

ただ、その中でも綿飴ができた際に副次的に出来るザラメを振りかけたが、非常に美味しく成功だったと思う。

何より、小さい子にウケが良く、ニコニコしてくれたのが良かった。グッジョブ。

武田・フォン・次郎丸

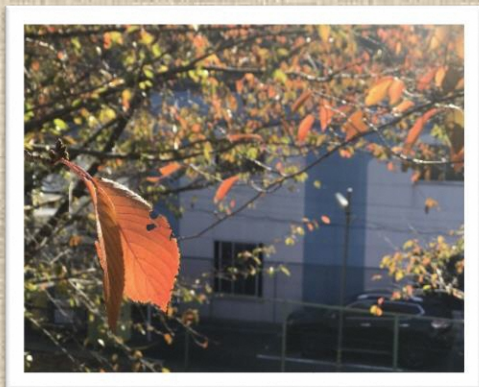
緊張したけど頑張れたと思う。飲食物を販売すること自体が初めてだったし、売り上げがどうなるかドキドキしていた。でも、予想以上の売り上げで良かったです。また、不安な気持ちを乗り越えて販売を続けられたことは、頑張ったところだと思う。何よりも、小さな子が買ってくれて、その子が笑顔になってくれたので良かった。

次回への改善点としては、綿飴を作る作業を前持って練習した方が良かったと思った。また、様々なシチュエーションをイメージして備えておくべきだと思った。何より、役割分担をしっかりとった方がよかったと思う。

K.M

ひらぼう写真展（秋）

11月15日に行った紅葉狩りで参加メンバーが撮影した写真です。



紅葉

色気より食い気！



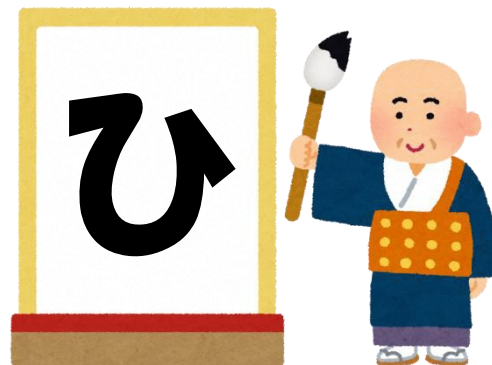
（無題）

青空とキラキラ紅葉



11月・女子ひらぽ

手間ひまごはん～だし巻き卵と土鍋ごはん～
丁寧に日常の食事を作ってみました。
だしの味が、素材の味が、おいしい～



～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となと** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952



第32報（令和2年2月）

ひらぽう

不定期！！コラムのコーナー

となとな利用者による、内容、文字数、文体など自由に書いていただくコーナーです。

道

一時期、散歩を習慣にしていたことがあった。週に1回か2回、30分から1時間くらい、近所の知らない道をただただ歩く。知らない道とはいえ、大通りに向けて歩いていけば、近所なので知っている道に大抵はたどり着いてしまう。しかし、時間内に戻れないかもしれないという状態まで迷ってしまうこともある。そんなときは不安な気持ちが頭を占めており、周囲の景色を楽しむなんて余裕は全くない。そんな思いまでして、いざ知っている道にたどり着いたとしても、やっと帰れるという安堵と自分はいったい何をやってたんだという徒労感しか感じなかった。

ここまで書くと、なぜそんなやり方をしていたのだと思われる方もいるかもしれない。一言で表現するならば、自分の人生の追体験をしていたのかもしれない。社会復帰というゴールにたどり着けず、道に迷うばかりの自分の立場を確認していたのかもしれない。そして、いざ社会復帰ができたとしてもやっと人並みになれたという安堵と自分はいったい何をやってたんだという徒労感しか残らない。こんな理屈をモチベーションにしていたのなら、やめてしまったのも納得と言えるだろう。また、支援してもらっている立場で何を言うんだと思われる方もいるかもしれない。それは自分でも思う。私は、そもそも歩けなくなってしまったから助けをもらう立場になったはずなのに。しかし、こうも思う。過程を楽しめるだけの前向きさや達成感が勝るほどの何かを持てるのなら、そもそもこんなことにはなっていないと。とはいえ、本来の人生のゴールは死だ。そのゴールにたどり着くこと自体に意味はなく、むしろ過程にこそ意味がある。そう考えるとむしろ過程を楽しまなければ損と言えるだろう。

そのための一歩を踏み出すために、散歩を再開するのもいいかもしれない。もちろん、過程を楽しめるように道を決めて。もっとも、まずは散歩でそんなことを考えてしまう思考をどうにかした方がいいのかもしれないが。（チビ）



昨年 12 月 13 日のひらぼで年末恒例の料理イベントを行いました。その時の様子のレポートです。

今年の年末料理イベントは、宇宙をテーマにしたお菓子作りを行った。自分の料理の担当は飴細工での器の作成だった。作業自体は、水を入れた風船にまんべんなく飴をかけて、固まるまで待つだけだった。簡単そうに聞こえるかもしれないが、風船にまんべんなく飴をかけることは意外と難しく、中々均一に流れてくれなかった。なので、飴のかかっていない部分を徐々に埋めるように飴をかけて作成することになった。ただ、後日自分が飴を食べていなかったことを思い出した。

飴のほかには、カップケーキとゼリーをほかの班の人たちが作っていた。ゼリーは、ただただかけた蜜が甘く、カップケーキは中のしっとり感がなかったように思う。カップケーキのクリームの色がどぎつい感じだったので、次回は彩りをきれいにできたらいいかなと思う。

後、料理はレシピ通りに作りましょう！

ペンネーム：魔球は投げないとある青年

1 月 29 日に開催したひらぼメンバー企画のクイズ大会企画者の感想です。

先日、企画としてクイズ大会を実施しました。

当初予定表には「企画実施」としか書いていなかったにもかかわらずたくさんの方に参加していただけて嬉しかったです！

結構良い問題が出来たと思いきやあっさり攻略されたりして少し悔しかったところはありませんが、企画自体は結構楽しかったです(笑)

写真に、出題した問題の一部を載せてみました。興味がある方はチャレンジしてみてください！

クイズ大会 企画者 T

	A	B
Q1 数字は？	two	too
Q2 重いのは？	1410g	鉄5g
Q3 長いのは？	5m	501mm
Q4 歩行者用信号の下の色は？	赤	青
Q5 調味料のふしやせものは？	塩	醤油



～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となとな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952

当センターでは、相談・居場所「ひらぼ」・家族の会を行っています。

—子ども・若者支援のための市民講座

～ひきこもりや不登校の

子ども・若者の自分らしい自立にむけて～

ひとりで背負わず、みんなでいっしょに考えませんか



令和元年9月14日（土）13:00～16:00

ラポールひらかた 4階 大研修室

本日は、ご参加いただきありがとうございます。

ひきこもりや不登校、ニート等の状態には、さまざまな背景があり、ご本人やご家族だけが背負う問題ではありません。枚方には、いっしょに考えたいと思っている人や相談できる場所があることをお届けする講座です。

第1部 13:00～14:00

講演『自分らしい自立へのステップ

～ひきこもり支援の現場から～』

藤村 泰王 さん（NPO 法人淡路プラッツ・精神保健福祉士）

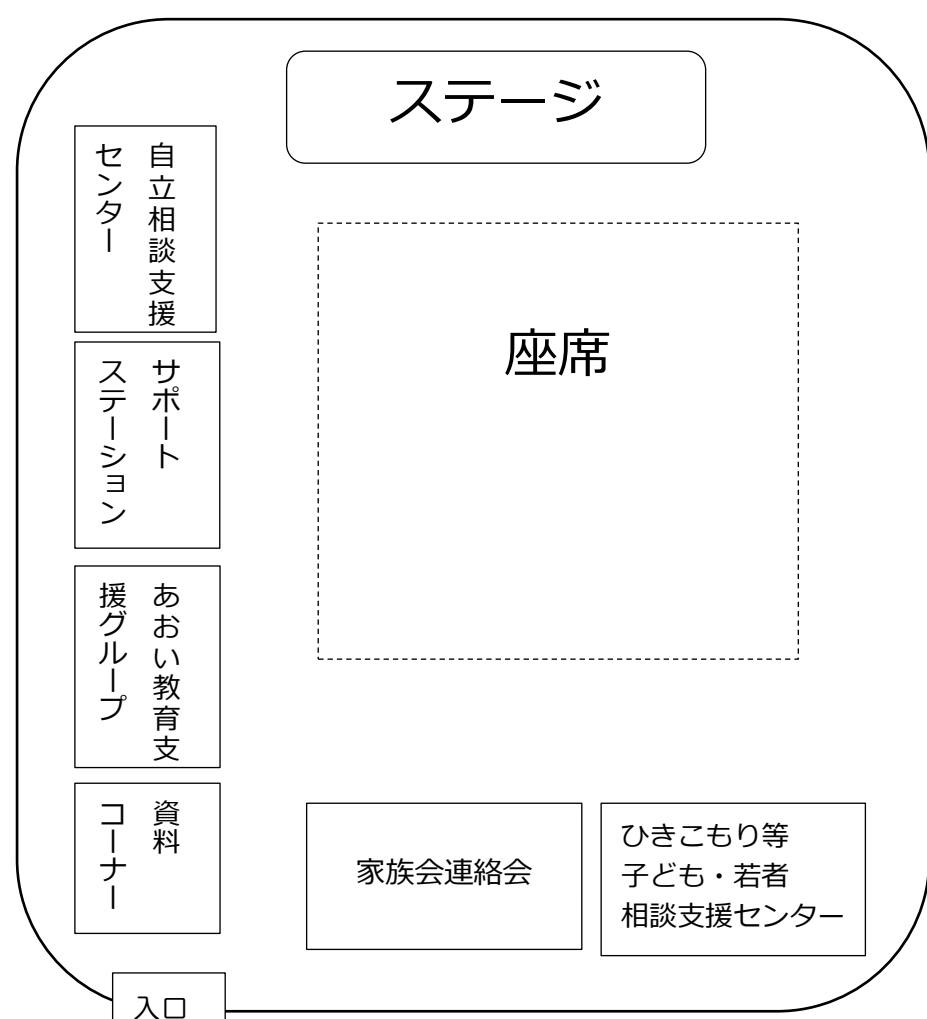
第2部 14:00～16:00

枚方市での相談・支援窓口の紹介



紹介ブースと資料コーナー

17時まで自由にご覧いただけます。



枚方市子ども・若者支援地域協議会

様々な相談・支援機関でつくるネットワークの場です。それぞれの役割を理解して、お手伝いを必要としている人に会った時に、お役に立てる情報が届けられるような関係づくりをしています。

今回、紹介するメンバーの他に、市役所各課、就労に関する窓口、医療機関、障害福祉に関する窓口、学校や教育機関、市民・民間団体など、34 機関が参加し、みんなで応援しています。

それぞれの紹介は資料コーナーにあります！

あなたの味方がここにあります

第1部 講師紹介

NPO 法人淡路プラッツ：藤村泰王さん

1992 年、ひきこもり子をもつ親ごさんの会が発足。子どもも安心して集える場所があればと作られた“居場所”が、現在の淡路プラッツにつながります。『居場所支援＝生活支援』を中心に据えて、親ごさんへの支援も行いながら、ひきこもりやニート等の若者たちへの支援を行っておられます。その中で、面談・居場所支援を担当し、中学生の学習支援等にも携わっておられる講師より、ひきこもりの支援を通して、一步一步自分らしい自立へ向かうそのプロセスを講演いただきます。

第2部 枚方市のメンバー紹介

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

ひきこもり、ニート、不登校に関する相談を、おおむね 15 歳から 39 歳くらいのご本人とご家族からお受けしています。

北河内地域若者サポートステーション

働くことに踏み出したい若者（15 歳から 39 歳まで）の、状況に合わせた就職活動を支援しています。

枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会

枚方市内で活動している家族会や若者の居場所づくりをしている 5 つの団体の連絡会です。

あおい教育支援グループ

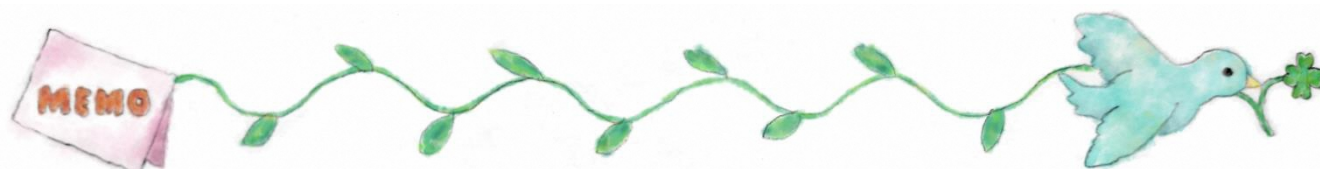
枚方にて、発達障害、不登校、ひきこもりといった悩みを抱える子どもたちに、小中学生から高校卒業後までの様々なサポートを行っています。

枚方市自立相談支援センター

仕事や暮らしのことで経済的に困りの方の相談を、相談支援員がお受けしています。



※メモ欄としてお使いください。





枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター
(ひきこもり等子ども・若者相談支援センター)

住所：枚方市岡東町 12-3-410

サンプラザ3号館4階

TEL: 050-7102-3228

FAX: 072-846-7952

E-Mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp



ひきこもり等子ども・若者相談支援センターホームページ



ひ



ひきこもり状態にあったり、対人関係の難しさを感じているなど、さまざまな生きづらさを抱えている女性自認の方を対象に、当事者会を開催します。

一般社団法人ひきこもりUX会議が2016年6月から開催している「ひきこもりUX女子会」は、2019年6月までに全国各地で計70回開催し、のべ2,800名以上の方々が参加しました。生きづらさを抱える女性達にとって、男性の目を気にすることなく集い、交流できる場はこれまでほとんどなかったことから、年齢を区切らない、女性だけで安心して集まれる場が必要とされています。

「こんな状態にあるのは自分だけではないか」「なんとかきっかけをつかみたい」と思っている女性たちに一人でも多くご参加いただき、「ひとりではない」と思える場をみなさんと一緒に作りたいと思っています。どうぞお気軽にご参加ください。

〔対象〕 ひきこもり状態にあったり、対人関係の難しさを感じているなど、さまざまな生きづらさを抱えている女性自認の方

＜主催＞ 大阪府、豊中市、吹田市教育委員会、枚方市、茨木市、能勢町教育委員会

＜協力＞ 大阪市平野区 ＜運営＞ 一般社団法人ひきこもりUX会議

吹田市 <開催日> 令和元年8月10日(土) <会 場> 吹田市立子育て青少年拠点 夢つ ながり未来館 4階/多目的会議室 (吹田市山田西4-2-43) <担当課> 吹田市教育委員会青少年活動 サポートプラザ 〔TEL〕06-6816-8531	豊中市 <開催日> 令和元年9月17日(火) <会 場> 豊中市千里文化センター 「コラボ」 集会場 (豊中市新千里東町1-2-2) <担当課> 豊中市くらし支援課 〔TEL〕06-6858-6870	枚方市 ※1 一時保育あり <開催日> 令和元年10月5日(土) <会 場> 枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた 4階/大研修室 (枚方市新町2- 1 -35) <担当課> 枚方市子ども総合相談センター 〔TEL〕050-7102-3228
大阪市平野区 <開催日> 令和元年11月8日(金) <会 場> 大阪市平野区保健福祉センター 2階/集団研修室 (大阪市平野区背戸口3-8-19) <担当課> 大阪府青少年・地域安全室 青少年課 〔TEL〕06-6944-9147	能勢町 <開催日> 令和元年12月7日(土) <会 場> 能勢町保健福祉センター 多目的室 (能勢町栗栖82-1) <担当課> 能勢町教育委員会生涯教育課 〔TEL〕072-734-2452	茨木市 ※1 一時保育あり <開催日> 令和2年1月19日(日) <会 場> 茨木市立男女共生センター ローズWAM 501・502 (茨木市元町4-7) <担当課> 茨木市こども政策課 〔TEL〕072-620-1625

※1 一時保育の希望は直接開催市へ開催日の一か月前までに事前にお申し出ください。
 ※2 車いすの利用など配慮が必要な場合は問い合わせ先「大阪府青少年・地域安全室青少年課」まで事前にお申し出ください。

<時 間>	14:00-16:30（開場13:40） ※開催日は会場毎に異なります ※休憩あり
<参加費>	無料・予約不要
<内 容>	第一部：ひきこもり経験者の「体験談トーク」（40分程度） 第二部：当事者・経験者のみの「グループトーク」（1時間30分程度） ※途中参加/退席可能、自主休憩ご自由に ※「ひきこもりUX女子会」第一部は、女性自認の方であれば当事者・経験者ではない方もご参加いただけます。ご家族や支援者の立場の方でも、ひきこもりや生きづらさを抱える当事者・経験者で女性自認の方であれば第二部にご参加いただけますが、その場合はあくまで“当事者”としての参加とし、ご家族や支援者としての立場での発言はお控えください。

豊中市、枚方市、大阪市平野区、茨木市では 「つながる待合室」も同時開催

<会 場>
豊中市(豊中市千里文化センター「コラボ」健康教育室)、**枚方市**(枚方市立総合福祉会館ラポールひらかた4階研修室4)、**大阪市平野区**(大阪市平野区保健福祉センター201会議室)、**茨木市**(茨木市立男女共生センターローズWAM405)

ひきこもり状態のご家族がいる方や支援者など、集まった方向士で自由に話す交流の場です。ご自由にご利用ください。

<時 間> 14:45-16:30（受付開始14:35）
 <参加費> 無料・予約不要
 <対 象> ひきこもり状態のご家族がいる方/支援者
 ※つながる待合室は性別問わずご参加いただけますが、ひきこもりUX女子会は女性自認の方以外はご参加いただけません。
 ※ひきこもりUX女子会とは別会場です。

<参加にあたってのルール>

- ①聞いた話は外で話さない、SNS等で発信しない
- ②相手の話を批判・否定しない
- ③話す時間を独り占めしない
- ④聴いているだけでもOK
- ⑤営業活動、政治活動、宗教団体などへの勧誘はご遠慮ください。誹謗中傷、暴力行為は禁止。

<一般社団法人ひきこもりUX会議とは>

一般社団法人ひきこもりUX会議とは、不登校、ひきこもり、発達障がい、セクシュアル・マイノリティの当事者・経験者らで立ち上げたクリエイティブチームです。

最新情報は <http://uxkaigi.jp> をご確認ください

ひきこもり
UX会議
●◆✱●
●●✱●

<問い合わせ先> 大阪府 青少年・地域安全室 青少年課

〔TEL〕06-6944-9147 〔FAX〕06-6944-6649 〔MAIL〕seishonen@sbox.pref.osaka.lg.jp
 〔WEB〕<http://www.pref.osaka.lg.jp/koseishonen/kowakasaichalle/index.html>

～地域の中での、子ども・若者のよき理解者～

サポートフレンドを 募集します！

—ひきこもり等の子ども・若者かわり講座—

サポートフレンドとは…

地域の中で、さまざまな生きづらさを感じている、ひきこもり等の子ども・若者に対する理解者となる存在です。

講座を受けて、サポートフレンドとして登録していただき、ひきこもり等の子ども・若者支援に関わる研修や講座に参加していただいたり、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターが実施する市民向けイベントのお手伝いをしていただいたり、状況が合えば、居場所支援事業「ひらぼ」のボランティアスタッフとして活動していただきます。

ひきこもり等の子ども・若者について理解を深め、関わっていきたいと思っておられる方、ぜひご参加ください。

第1回 2月 7日（金）14時～16時 ラポールひらかた 研修室1

『ひきこもり状態になっている若者の理解と自立へのステップ』

講師：小林 将元さん（特定非営利活動法人クラウドナイン理事長）

第2回 2月 12日（水）14時～16時 枚方公園青少年センター 和室

『枚方市におけるひきこもり等子ども・若者支援の取り組み』

『居場所支援事業「ひらぼ」の紹介～サポートフレンドの役割～』

講師：居場所支援コーディネーター・子ども総合相談センター職員

第3回 2月 17日（月）14時～16時 ラポールひらかた 研修室1

『一緒に考える、若者観～柔らかいところでイメージをひろげよう～』

講師：子ども総合相談センター職員

講座内容
の詳細は
裏面へ。

【定員】30名

【参加費】無料

【申し込み】令和2年 1月 6日（月）10:00～、子ども総合相談センターへ。

窓口・電話・電子メール・ファックスにて。氏名・電話番号を明記のこと。

※手話通訳をご希望の方は、1月23日（木）までにお申し込みください。

原則、全3回参加としています。

ご都合がつかない場合は、お申し込み時にご相談ください。

枚方市 子ども青少年部 子ども総合相談センター（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター）

枚方市岡東町 12-3-410 サンプラザ 3号館 4階

TEL: 050-7102-3228 / FAX: 072-846-7952

E-Mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp



【講座の内容】

第1回

講師：小林 将元 さん（NPO 法人クラウドナイン理事長）

精神科医療にて障害者の生活・就労支援に携わる中で、ひきこもりやニート等の若者支援事業を展開されてきました。平成 28 年より、NPO 法人クラウドナインを立ち上げ、クリニック・訪問看護ステーション等の医療機関、行政機関、民間支援機関との連携を重視した、若者の生活就労支援にあたっておられます。第1回講座では、ひきこもり状態についての概論と、講師のこれまでの経験から見えてきた若者の自立に向かう姿を講演いただきます。

第2回

地域の中でのよき理解者として、ひきこもり等の子ども・若者やその家族から、日常生活場面で相談を受けた時に、適切な情報提供をしたり窓口につないだりすることもサポートフレンドの大切な役割です。そのために必要な、枚方市におけるひきこもり等の子ども・若者支援の取り組みや相談窓口についてお伝えします。

また、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターで行っている、相談につながった若者たちの次のステップとしての居場所支援事業「ひらぼ」にて、参加する若者たちの活動をサポートすることもサポートフレンドの役割のひとつです。この居場所支援事業「ひらぼ」の様子や、居場所の意味、その中でのサポートフレンドの役割についてご紹介します。

※居場所支援事業「ひらぼ」スタッフとしての活動には、要件があります。詳しくは講座にてご説明します。

第3回

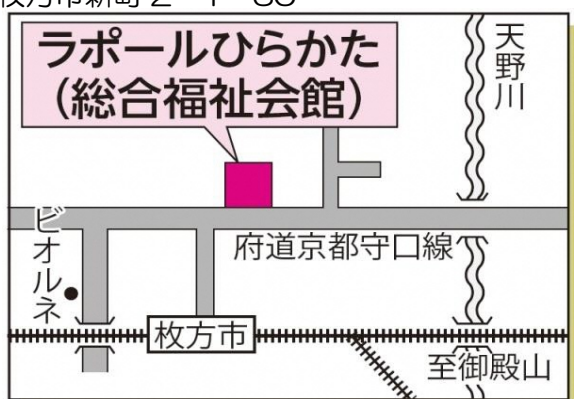
ひきこもりや不登校にどのようなイメージをお持ちですか？自分の中に、“若者とはこういうものだ”という価値観があるとしたら、どのような感覚をお持ちですか？

第3回講座では、まず、自分の中にある価値観にふれてみます。そして、参加者同士で、多様な感覚を共有してみます。グループワークをとおして、さまざまな生きづらさを感じている若者の思いや感覚にイメージをふくらませてみる体験をしましょう。自分のこころの持ち方から、子ども・若者とのかかわり方や理解を深めます。

【会場】

第1・3回

枚方市新町 2 - 1 - 35



第2回

枚方市伊加賀東町 6 - 8



枚方市青少年サポートマップ

枚方市には、悩みや不安を抱えている青少年のみなさんやご家族に寄り添って、お話をお聴きする場所があります。ひとりで悩まず、一度相談してみませんか？

枚方市子ども総合相談センター となと

〒573-0032 枚方市岡東町12-3-410 サンプラザ3号館4階
050-7102-3228



枚方市 ひこほしくん

- ① 相談例を参考に相談窓口を探そう。
- ② マップで場所を確認!
- ③ 相談窓口の詳細は裏面だよ。

- ひきこもりやニート、不登校について、相談したい → ①
- 就職に向けて相談したい → ② ③
- 居場所や活動に参加したい。家族や同じ立場の人と会いたい → ① ④ ⑤
- 25、6歳までの青少年に関する相談がしたい → ⑥ ⑦
- 0～18歳までの子育てに関する相談がしたい → ⑧
- 不登校、いじめなど幼小中学生の教育相談がしたい → ⑨
- 身近な地域の中で、福祉に関する相談がしたい → ⑩ ⑪
- こころの健康について相談したい → ⑫ ⑬
- 障害福祉の支援について相談したい → ⑭

- 1 枚方市子ども総合相談センター
ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
- 8 枚方市子ども総合相談センター
家庭児童相談担当

5 インス大阪 家族会

- 5 不登校の親の会「カモミール」
- 10 いきいきネット相談支援センター
① 枚方市社会福祉協議会(中部・南部)
- 11 民生委員児童委員協議会
- 13 心の健康相談

6 枚方公園青少年センター

八景
淀川の四季



14 障害者相談支援センター
④ (地域生活支援センター にじ)

5 登校拒否を克服する会・北河内交流会

八景
樟葉宮跡の杜

継体天皇樟葉宮跡
交野天神社★



10 いきいきネット相談支援センター
① 枚方市社会福祉協議会(北部)

樟葉生涯学習市民センター
樟葉図書館

八景
牧野の桜



牧野生涯学習市民センター
牧野図書館

5 みんなでつくる学校とれびりんか

9 子どもの笑顔を守るコール
(教育委員会 児童生徒支援室)

14 基幹相談支援センター
⑤ (相談支援センター 陽だまり)

穂谷川

★中央図書館

御殿山生涯学習美術センター
御殿山図書館

14 基幹相談支援センター
② (パーソナルサポートひらかた)

八景
百済寺跡の松風



★陸上競技場

14 障害者相談支援センター
⑥ (クロスロード)

12 枚方市保健所

- 2 北河内地域若者サポートステーション
- 3 枚方市地域就労支援センター
(NPO法人枚方人権まちづくり協会)
- 10 いきいきネット相談支援センター
② (NPO法人枚方人権まちづくり協会)

八景
万年寺山の緑陰



八景
香里団地の並木



★南部生涯学習市民センター

7 大阪府中央子ども家庭センター
〒572-0838 大阪府寝屋川市八坂町28-5

ほっと一息、枚方八景の散策もおすすめだよ。



枚方市 ひこほしくん

14 障害者相談支援センター
① (障害者相談支援センター わらしべ)



八景
山田池の月

山田池公園

菅原生涯学習市民センター
菅原図書館

JR学研都市線

★津田生涯学習市民センター
津田図書館

八景
国見山の展望



- 10 いきいきネット相談支援センター
① 枚方市社会福祉協議会(東部)
- 14 基幹相談支援センター
③ (地域支援センター ゆい)

- 4 (特活)ひらかた市民活動支援センター
- 5 NPO法人つばさの会 大阪

相談内容別に色分けしてあるよ。相談先に迷った時は、参考にしてみてね。



枚方市 ひこほしくん

1 ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	
対 象 者	おおむね15歳から39歳までの本人、家族、関係者 ☆
支援内容	ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けし、継続して対応方法や支援と一緒に考えていきます。必要に応じて、より適した支援機関等におつなぎします。次のステップとしての居場所支援や家族の会も行っています。
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住 所	〒573-0032枚方市岡東町12-3-410サンブラザ3号館4階 子ども総合相談センター・となとな内
Tel/Fax	【Tel】072-843-2255 【Fax】072-846-7952

2 北河内地域若者サポートステーション（一般社団法人ステップフォワード）	
対 象 者	15歳から39歳までの無業の若者と、その家族、関係者
支援内容	働くことに踏み出したい若者を対象に、相談者の状況に合わせて就職活動等をご支援します。個別面談、就活プログラム、職場体験、定着支援などを行っています。（職業紹介は行っておりません）
相談方法	面接相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住 所	〒573-0032枚方市岡東町12-1サンブラザ1号館305号室
Tel/Fax	072-841-7225

6 <青少年相談> 枚方公園青少年センター	
対 象 者	おおむね26歳までの青少年及びその保護者等 ☆
支援内容	専門の相談員（児童養護施設指導者、臨床心理士、ひきこもり相談士）が、いじめ、不登校、ひきこもり、中途退学、人間関係等の青少年相談をお受けします。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 毎月 第1月曜日（17:00～19:50） 第3月曜日（15:00～18:50） （予約受付は9:00～17:00・第4月曜日と年末年始を除く）
住 所	〒573-0058枚方市伊加賀東町6-8
Tel/Fax	【Tel】072-844-7830 【Fax】072-843-4699
E-mail	sodan7830@city.hirakata.osaka.jp （問い合わせ専用）

7 大阪府中央子ども家庭センター	
対 象 者	北河内地域にお住まいの子ども・おおむね25歳までの青少年 ※子ども:18歳未満
支援内容	子どもや家庭についての相談、おおむね25歳までの青少年についての相談を行っています。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:45
住 所	〒572-0838寝屋川市八坂町28-5
Tel/Fax	【Tel】072-828-0161 【Fax】072-828-5319

8 子ども総合相談センター 家庭児童相談グループ	
対 象 者	18歳未満の子ども、その保護者、関係者 ☆
支援内容	子どもとの接し方・親子関係・友達関係・発達・行動上の問題など、様々な相談に専門の相談員が応じます。まずは電話でご相談ください。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住 所	〒573-0032枚方市岡東町12-3-410サンブラザ3号館4階 子ども総合相談センター・となとな内
Tel/Fax	【Tel】050-7102-3221 【Fax】072-846-7952

9 <子どもの笑顔守るコール> 教育委員会児童生徒支援室	
対 象 者	幼稚園・小学校・中学校の本人、その保護者、教職員など ☆
支援内容	いじめ、友達関係、不登校に関することなど、学校生活全般についての教育相談をお受けします。
相談方法	電話相談（無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:00
住 所	〒573-1159枚方市車塚1-1-1
T e l	『いじめ専用ホットライン』:072-809-7867 『教育安心ホットライン』:072-809-2975

3 枚方市地域就労支援センター（NPO法人枚方人権まちづくり協会）	
対 象 者	枚方市在住の方（年齢不問） ☆
支援内容	働く意欲がありながら、様々な理由で仕事に就くことが出来ない方を対象に、就労に関する相談や資格取得講座・セミナーの実施などを行っています。（職業紹介は行っておりません）
相談方法	面接相談（要予約・無料） 月・火・水・金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住 所	〒573-0032枚方市岡東町12-1-502サンブラザ1号館5階
Tel/Fax	【Tel】072-844-8788 【Fax】072-844-8799

4（特活）ひらかた市民活動支援センター	
対 象 者	特に限定なし
支援内容	当事者の団体、当事者の支援をしている団体、居場所づくりができる団体が登録しています。これらの情報提供や紹介ができます。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料…場合によっては有料） 月・火・木・金・土曜日 9:30～20:30 日曜日・第4火曜日 9:30～17:30
住 所	〒573-0042枚方市村野西町5-1サブリ村野内
Tel/Fax	【Tel】072-805-3537 【Fax】072-805-3532
E-mail	info@hirakatanpo-c.net

10 いきいきネット相談支援センター（市内4か所）	
対 象 者	高齢者、障害者、ひとり親家庭など支援を必要とする方とその家族の方 ☆
支援内容	福祉や地域の情報に詳しいコミュニティソーシャルワーカー（地域相談員）が、福祉に関する困り事の相談をお受けします。
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談（無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
北 部	1 枚 方 市 社 会 福 祉 協 議 会 地域包括支援センター社協こもれび内 【住所】〒573-1106枚方市町楠葉1-28-8・101 ハリマシリーズⅢ 【Tel】072-856-9155 【Fax】072-856-9188
	ラポールひらかた内 【住所】〒573-1191枚方市新町2-1-35ラポールひらかた1階 【Tel】072-807-3448 【Fax】072-845-1897
東 部	地域支援センターゆい内 【住所】〒573-0127枚方市津田元町1-9-21 【Tel】072-808-2433 【Fax】072-808-2423
全 域	2 NPO法人枚方人権まちづくり協会 【住所】〒573-0032枚方市岡東町12-1-502サンブラザ1号館5階 【Tel】072-844-8866 【Fax】072-844-8799

11 民生委員児童委員協議会	
対 象 者	枚方市在住の方 ☆
支援内容	「あなたの身近な相談員」として、生活福祉、高齢者、児童、障がい者（児）福祉について、人に寄り添う活動をしています。
相談方法	各地域の民生委員児童委員または、主任児童委員にご相談ください。 ご不明な時は、下記までお問い合わせください。
住 所	〒573-1191枚方市新町2-1-35 ラポールひらかた 枚方市社会福祉協議会 地域福祉課
Tel/Fax	【Tel】072-807-3448 【Fax】072-845-1897

12 枚方市保健所	
対 象 者	概ね18歳以上の本人、家族、関係者 ☆
支援内容	こころの病（統合失調症・うつ病・認知症・アルコール依存症などの精神疾患、ひきこもりなど）についての相談を、精神科医、精神保健福祉士等ケースワーカー及び保健師が行います。
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
住 所	〒573-0027枚方市大垣内町2-2-2 枚方市保健所 保健予防課 精神保健担当
Tel/Fax	【Tel】072-807-7625 【Fax】072-845-0685

13 <心の健康相談> 枚方市社会福祉協議会	
対 象 者	特に限定なし
支援内容	心の悩みや不安について、専門の相談員が相談に応じます。
相談方法	面接相談（無料） 毎週金曜日（祝日を除く）13:00～16:00 （受付時間 12:30～15:30）
住 所	〒573-1191枚方市新町2-1-35 ラポールひらかた
T e l	072-841-0184

5 家族会など	
不登校・ひきこもりの若者の居場所や、その家族の交流の場です。まずは電話等でお問い合わせください。	
N P O 法 人 つ ば さ の 会 大 阪 家族 本人	
活動内容	●親の会:毎月第3日曜日 年会費3000円、月会費1000円 ●居場所支援:毎週1回、当事者の若者が参加して勉強会やスポーツを行っています。 ●場所:いずれもサブリ村野
連 絡 先	〒573-0027枚方市大垣内町1-3-1マインドビル4階 【Tel】072-844-2423 【E-mail】joke@joke-jp.com
イ シ ス 大 阪 家 族 会 家族	
活動内容	●例会:毎月第2日曜日 ●会員:年会費2000円、例会500円 非会員:例会1000円（初回は無料） ●場所:メセナひらかた会館
連 絡 先	〒546-0024大阪市東住吉区公園南矢田1-17-7・1103 【Tel／Fax】06-6696-0967（山根）
不登校の親の会「カモミール」 家族	
活動内容	●定例会:毎月第3土曜日19時 ※カウンセラーも参加します。 ●会員:年会費1000円、定例会無料 非会員:定例会1回300円 ●場所:ラポールひらかた
連 絡 先	【Tel／Fax】072-857-7498（本多）
登校拒否を克服する会・北河内交流会 家族	
活動内容	●交流会:偶数月第3日曜日 13:00～17:00 ●対象:不登校・ひきこもりの親と関係者（相談員参加） ●参加費:交流会1回500円 ●場所:蹊跼生涯学習市民センター（4・6・10・12月） ふらっとねやがわ（2・8月）
連 絡 先	〒573-0128枚方市津田山手1-6-4 【Tel／Fax】072-859-7756（古庄・ふるしょう）
みんなでつくる学校 とれぶりんか 家族 本人	
活動内容	●ご家族、ご本人からの相談をお受けします。 ●仲間で作る様々なグループ（劇団、音楽、畑、ボランティア等）があり、体験学習を通して互いに元気になる活動を行っています。 ●場所:ラポールひらかたなど
連 絡 先	【Tel】072-826-3552／090-4289-5317（中川）

14 障害者相談支援センター（市内6か所）	
対 象 者	障害者・障害児等（本人、家族、関係者）
支援内容	障害のある方の日常生活全般（福祉サービスの利用・住まい・日中活動・権利擁護など）についての相談をお受けします。必要に応じて関係機関と連携し、紹介等も行います。（相談は要予約・無料）
1 障害者相談支援センターわらしべ	
相談方法	電話相談・面接相談 月～金曜日 9:00～18:00（祝日・年末年始を除く）
連 絡 先	【住所】〒573-0164枚方市長尾谷町1-101-1 【Tel】072-868-1301【Fax】072-868-3305 【E-mail】tikatu.sora@gmail.com
2 パーソナルサポートひらかた ※	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 9:00～18:00（祝日・年末年始を除く） 土曜日 9:00～17:00
連 絡 先	【住所】〒573-0011枚方市中宮山戸町10-12-105 【Tel】072-848-8825【Fax】072-848-7920 【E-mail】pa-so@nifty.com
3 地 域 支 援 セ ン タ ー ゆ い ※	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 10:00～19:00（祝日・年末年始を除く）
連 絡 先	【住所】〒573-0127枚方市津田元町1-9-21 【Tel】072-808-2422【Fax】072-808-2423 【E-mail】yui@hirakata-shakyo.net
4 地 域 生 活 支 援 セ ン タ ー に じ	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 9:30～17:00（祝日・年末年始を除く）
連 絡 先	【住所】〒573-0066枚方市伊加賀西町52-12 【Tel】090-8216-4911【Tel/Fax】072-845-1451 【E-mail】nijj5212@ybb.ne.jp
5 相 談 支 援 セ ン タ ー 陽 だ ま り ※	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 9:00～18:00（祝日・年末年始を除く） 土・日曜日 13:00～18:00
連 絡 先	【住所】〒573-1161枚方市交北2-7-15 【Tel／Fax】072-809-0015 【E-mail】hidamari@e-sora.net
6 ク ロ ス ロ ー ド	
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 水～日曜日 10:00～18:00（祝日開所。年末年始は要確認）
連 絡 先	【住所】〒573-0028枚方市川原町9-4第2浜田ビル 【Tel／Fax】072-843-4100 【E-mail】crossroad@s3.dion.ne.jp

※印は地域の相談拠点となる基幹相談支援センター
☆印は、枚方市民の方が対象

【資料6】

枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱

平成30年3月30日制定
枚方市要綱第28号

(設置)

第1条 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援するため、子ども・若者育成支援推進法（平成21年法律第71号。以下「法」という。）第19条第1項の規定する子ども・若者支援地域協議会として、枚方市子ども・若者支援地域協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所管事項)

第2条 協議会の所管事項（以下「所管事項」という。）は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る情報交換及び連絡調整を行うこと。
- (2) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に必要な体制の整備についての検討を行うこと。
- (3) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の具体的支援の内容についての協議を行うこと。
- (4) 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る調査研究、研修並びに広報及び啓発活動を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 協議会は、次に掲げる機関等に属する者で構成する。

- (1) 枚方市産業文化部商工振興課
- (2) 枚方市保健所保健予防課
- (3) 枚方市保健所保健センター
- (4) 枚方市福祉部福祉総務課
- (5) 枚方市福祉部生活福祉室
- (6) 枚方市福祉部障害福祉室
- (7) 枚方市子ども青少年部子ども青少年政策課
- (8) 枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター
- (9) 枚方市教育委員会事務局学校教育部児童生徒支援室
- (10) 枚方公共職業安定所
- (11) 大阪府中央子ども家庭センター
- (12) 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
- (13) 一般社団法人枚方市医師会
- (14) 枚方市民生委員児童委員協議会

- (15) 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
- (16) 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会
- (17) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める機関等
(子ども・若者支援調整機関)

第4条 法第21条第1項に規定する子ども・若者支援調整機関は、枚方市子ども青少年部子ども総合相談センターとする。

(守秘義務)

第5条 協議会を構成する者及び構成していた者は、正当な理由なしに、当該会議（所管事項の遂行に伴う活動を含む。）を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、制定の日から施行する。
- 2 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議設置要綱（平成24年枚方市要綱第64号）は、廃止する。



ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
枚方市子ども・若者支援地域協議会
令和元年度の活動報告

令和2年10月発行

枚方市

子どもの育ち見守りセンター **となとな**

枚方市岡東町12-3-410サンプラザ3号館4階

TEL: 050-7102-3228 (直通)

FAX: 072-846-7952

e-mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp

